

マスターカラーCDM (CDM-R・CDM-R111・CDM-TP) 取扱説明書

フィリップス マスターカラーCDM (CDM-R・CDM-R111・CDM-TP) ランプをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。ご使用に際し、以下の注意事項をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

施工業者様へ：この取扱説明書は工事終了後、照明設備を維持管理される方に必ずお渡しください。

注意

- CDM-R942シリーズ及びCDM-R111は、必ず電子安定器と併せてご使用ください。
- R111を器具から取り外す際は、ランプ中心部のキャップではなく必ずリフレクターの縁をお持ちください。ヤケドや破損の原因となります。

警告

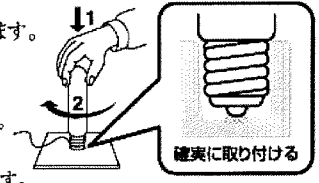
- ⊘ ランプの外管(ガラス球)および内管(ガラス管)が割れたままでは絶対に点灯しないでください。紫外線による目や皮膚の障害及び破損落下の原因となります。
- ⊘ 紙や布でおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となります。
- ⊘ 集魚灯用に使用しないでください。感電・破損によるケガの原因となります。
- ⊘ 取り付け、取り外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

安全上の注意

注意

ランプの取り扱い

- ソケットに確実に取付けてください。ランプの落下や接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 落としたり、物ぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。特に器具清掃やランプ交換のときはご注意ください。破損した場合、ケガの原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので絶対に手や肌などをふれないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- R111のランプ中心部のキャップは、引っ張ったり取り外したりしないでください。ヤケドや破損の原因となることがあります。ランプ中心部のキャップを取り外したランプは、安全上ご使用いただけません。
- R111を器具から取り外す際は、ランプ中心部のキャップではなく必ずリフレクターの縁をお持ちください。ヤケドや破損の原因となることがあります。



(CDM-R、CDM-TP)

安定器・照明器具

- 適合した器具および安定器で指定されたワット数のランプを必ず使用してください。過熱や発煙の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や、湿度の高いところで使用しないでください。破損の原因となることがあります。
- 引火する危険な雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは、ランプを使用しないでください。ランプの立消えや不点灯、破損や落下の原因となることがあります。
- 酸などの腐食性雰囲気のあるところでは、一般器具によるランプの使用はしないでください。漏電や落下などの原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは一般器具によるランプの使用はしないでください。器具の過熱の原因となることがあります。

ランプの点灯

- 点滅を繰り返すなど正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切ってランプを交換してください。過熱や発煙の原因となることがあります。
- ランプから近距離のところでは長時間作業をしたりランプを直視しないでください。紫外線による目や皮膚の障害の原因となることがあります。
- 退色を極度にさせたい場合には、使用しないでください。
- 定格寿命もしくは、それ以前にランプ交換をおすすめします。まれに破損する原因となることがあります。
- 連続点灯で使用する場合は、ランプ異常の有無を確認するため、一週間に一度は消灯してください。ランプ異常によりまれに安定器が焼損することがあります。

その他

- 使用済のランプは割らずに破棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

使用上の注意

ランプ

- CDM-R・CDM-R111・CDM-TPに適合した照明器具・マスターカラーCDM用安定器と組み合わせてご使用ください。他の照明器具・安定器との組み合わせではご使用になれません。
- 電源スイッチを入れたあと、明るくなるまでに約4分かかります。
- 消灯直後に電源スイッチを入れてもすぐに再点灯しません。一旦電源スイッチを切り約10～15分後に再び電源スイッチを入れてください。(照明器具の構造や設置場所などによって、ランプの冷える時間が異なりますので、必要時間も変化いたします。)
- 非常に高い照度度のご使用や、光に敏感な材質のものを照射する場合には紫外線フィルターの使用をおすすめします。
- 調光して使用しないでください。
- 取り付け、取外し、器具清掃およびランプ交換のときには手袋の使用をおすすめします。
- 点滅を頻繁に繰り返すと、明るさ低下や短寿命の原因となります。
- 点灯方向により光色が変わります。水平点灯の場合は垂直点灯に比べて色温度が低くなります。
- ランプ個々には光色のばらつきおよび色シフトがありますが、照明効果の面では実用上問題ありません。また、カタログなどに記載してあるランプ特性は、点灯100時間後の値を基準にしてあります。ランプを取り付けてからの点灯初期に、特性が若干変化するものもあります。
- 点灯方向:任意

安定器

- 電源電圧は使用する安定器の定格電圧の±6%以内でご使用ください。
- 急激な電圧降下がある場合にはランプが消灯することがあります。
- 安定器からランプまでの管灯回路長は、マスターカラーCDM用安定器に指定された長さ以下で使用してください。
- CDM-R942シリーズ及びCDM-R111は、必ず電子安定器と併せてご使用ください。
- ランプが点灯していない場合でも、電源スイッチを入れてからしばらく(約20～30分)の間、安定器の2次側に高圧パルスが発生しています。点検は必ず電源を切ってから行ってください。
- パルス停止機能付き安定器をご使用の際、パルス停止機能が作動した状態でランプを交換しても点灯いたしません。一旦電源スイッチを切り、しばらくたってから再び電源スイッチを入れてください。電源を切るによりパルス停止機能がリセットされます。

ランプの誤った使用方法や適合しない照明器具および点灯装置でのご使用に伴う一切の事故、故障の責任は負いかねます。ご不明な点は弊社または弊社代理店までおたずねください。